Syntech
Metals、6000系・7000系アルミニウム合金の幅広い選択肢を提供

FOSHAN, GUANGDONG, CHINA,
October 19, 2026 /EINPresswire.com/ --
カスタム押出成形からCNC精密加工、表面処理まで、日本のもの
づくり市場に向けた製造体制を展開

アルミニウム合金の軽量性と優れた設計自由度を活かした製品開発
が、産業機器、自動車関連部品、建築、輸送機器、放熱部品など、幅広い分野で進んでいる。こうした市場では、材料の選定に加え、押出成形、精密加工、表面処理、品質管理を含めた総合的な製造対応力が、サプライヤー選定の重要な要素となっている。

中国のアルミニウム製品メーカーである Syntech Metals Limited
は、6000系および7000系アルミニウム合金を活用したカスタム押出形材やCNC精密加工部品を提供し、日本のアルミ押出メ ーカー、工業部品メーカー、自動車関連企業などに向けて、製品仕様に応じた製造ソリューションを展開している。

6000系・7000系アルミニウム合金に対応
Syntech Metals Limited

Syntech Metals
が取り扱い対象とする合金には、6000系の6061、6063、 6060、6005、6082、および7000系の7003、70 05、7075、7076が含まれる。

6000系合金は、強度、耐食性、押出成形性、表面仕上げなどの特性を考慮しながら、産業用形材、建築部材、機械部品、放熱部品など、さまざまな用途で検討される材料群である。具体的な選定に
あたっては、合金グレードに加え、調質、断面形状、寸法、公差、
使用環境などを総合的に評価する必要がある。
Anodized Aluminum Heatsinks
一方、7000系合金は、高い強度が求められる構造部品や機械部品などの用途において検討される。7003、7005、7075、
7076についても、それぞれの材料特性や加工条件を踏まえ、最終製品の要求性能に応じた適合性の確認が重要となる。

同社は、多様な合金グレードを選択肢として、顧客の図面、用途、寸法要件、機械的特性および表面処理条件に応じた製造方法の検討を支援する。

押出成形からCNC精密加工まで、製造工程を幅広くサポート

同社の公式ウェブサイトによると、Syntech Metals
は約100,000平方メートルの生産施設を有し、500～10,0
00トン級の押出プレス17台を備えている。また、アルミ押出形
材に加え、CNC精密加工や各種表面処理にも対応している。
Aluminum Round Bars

こうした製造体制は、カスタム形材の押出成形から二次加工、表面
仕上げまで、複数の工程を組み合わせる製品開発に活用できる。顧客の設計図面や技術仕様に基づき、形材の断面設計、加工方法、表面処理などを検討することで、製品ごとの要求に応じた製造計画の策定を支援する。

産業機器、放熱部品、建築用形材、自動車関連部品などでは、製品の機能だけでなく、寸法精度、外観品質、組立性、ロットごとの品質安定性も重要となる。こうした要求に対応するためには、材料選定と加工工程、検査条件を一体的に検討することが欠かせない。

国際的な品質管理基準と表面処理関連認証を重視

日本の製造業市場では、製品の加工能力だけでなく、品質管理体制、製造工程の安定性、検査記録の整備などもサプライヤー評価における重要なポイントとなる。

Syntech Metals は、自動車産業向け品質マネジメントシステムの IATF 16949、品質マネジメントシステムの国際規格 ISO
9001:2015、ならびにアルミニウム製品の表面処理に関連する QUALICOAT および QUALANOD に関する認証・規格対応を掲げている。

IATF 16949は自動車産業の品質マネジメントに関する要求事項を定めた規格であり、ISO 9001:2015は組織全体の品質マネジメントシステムに関する国際規格である。また、QUALICOATはアルミニウムの有機塗装仕上げ、QUALANO Dはアルミニウムの陽極酸化処理に関連する品質制度として知られている。

これらの基準や認証への対応は、自動車関連部品の製造、品質管理体制の構築、アルミニウム表面処理の品質確保を検討する顧客にとって、サプライヤーを評価する際の参考情報となる。

実際の取引では、認証の有効性、対象拠点、適用工程および製品範囲を確認するとともに、顧客の図面、技術仕様、検査基準との適合性を個別に確認することが重要となる。

日本の技術要求に応じたカスタム製造を目指す

日本のアルミ加工・部品製造市場では、材料規格、化学成分、機械的特性、寸法公差、表面品質、検査書類などについて、製品ごとに具体的な技術要件が設定される。

Syntech Metals
は、顧客の図面や用途に基づくカスタム押出形材および精密加工部品の製造を通じて、新規製品の開発、既存部品の仕様見直し、カスタムアルミ製品の調達など、多様

なニーズへの対応を目指している。

JISなどの日本規格や顧客独自の品質基準が求められる案件については、該当する規格要求、材料仕様、検査方法、必要書類を事前に照合することが前提となる。こうした技術要件を明確にすることで、試作から量産に向けた検討をより円滑に進めることができる。

長期的な製造パートナーシップの構築へ

アルミニウム製品の用途が多様化するなか、合金選定、押出成形、精密加工、表面処理を組み合わせ、製品仕様に応じた製造対応を行えるパートナーは、企業の製品開発と調達体制に新たな選択肢をもたらす。

Syntech Metals Limited
は、6000系・7000系アルミニウム合金の選択肢、カスタム押出成形、CNC精密加工、表面処理関連サービスを通じて、日本のアルミ押出メーカー、産業機器メーカー、自動車関連企業、精密部品メーカーとの協業機会を広げていく方針だ。

同社は、材料仕様や製品図面に関する技術相談から製造可否の検討まで、個別案件に応じた対応を通じて、日本市場における長期的な取引関係の構築を目指している。

Syntech Metals Limitedについて

Syntech Metals Limited
は、カスタムアルミ押出形材およびアルミニウムCNC精密加工部品を手がけるメーカー。公式ウェブサイトでは、1993年からの業界経験、約100,000平方メートルの生産施設、17台の押出プレス、精密加工および表面処理関連サービスを紹介している。

産業機器、建築、輸送機器、放熱部品など、さまざまな用途に向けたアルミニウム製品の製造を支援している。

公式ウェブサイト： https://www.syntechmetal.com/ja/

お問い合わせ： sales@syntechmetal.com

Ken Yip
Syntech Metals Limited
+86 139 2862 1071
Visit us on social media:
LinkedIn
Instagram
Facebook
YouTube
TikTok
X
Other

This press release can be viewed online at: https://www.einpresswire.com/article/950678352 EIN Presswire's priority is source transparency. We do not allow opaque clients, and our editors

try to be careful about weeding out false and misleading content. As a user, if you see something we have missed, please do bring it to our attention. Your help is welcome. EIN Presswire, Everyone's Internet News Presswire™, tries to define some of the boundaries that are reasonable in today's world. Please see our Editorial Guidelines for more information.
© 1995-2026 Newsmatics Inc. All Right Reserved.